

106 仮庵祭でのイエス(3)

ヨハネによる福音書 7 : 37~53



37 (7日間ある仮庵の) 祭りが最も盛大に祝われる終わりの日 (→7日目) に、イエスは立ち上がって大
声で (→No.105 仮庵祭でのイエス[2]を参照) 言われた。

「渴いている人はだれでも、わたしのところに来て飲みなさい (→わたしを信じなさい)。38 わたしを信
じる者は、聖書に書いてあるとおり、その人の内から生きた水 (→聖霊) が川となって流れ出るようになる。」

→エゼキエル書 47 : 12

川のほとり、その岸には、こちら側にもあちら側にも、あらゆる果樹が大きくなり、葉は枯れず、果実は
絶えることなく、月ごとに実をつける。水が聖所から流れ出るからである。その果実は食用となり、葉は
薬用となる。

→ヨハネによる福音書 4 : 10

イエスは答えて言われた。「もしあなたが、神の賜物を知っており、また、『水を飲ませてください』と言
ったのがだれであるか知っていたならば、あなたの方からその人に頼み、その人はあなたに生きた水を
与えたことであろう。」

39 イエスは、御自分を信じる人々が受けようとしている“霊”について言われたのである。イエスはま
だ栄光を受けて (→十字架、復活、昇天) おられなかったので、“霊”がまだ降っていなかったからであ
る。

→昇天したイエスは、**聖霊**を信者の上に注がれた。→**ペンテコステ** (使徒言行録 2 章) →**教会誕生**

40 この言葉を聞いて、群衆の中には、「この人は、本当にあの預言者だ」と言う者や、

41 「この人はメシアだ」と言う者がいたが、このように言う者もいた。「メシアはガリラヤから出るだろ
うか。42 メシアはダビデの子孫で、ダビデのいた村ベツレヘムから出ると、聖書に書いてあるではない
か。」

→マタイによる福音書 2 : 1a

イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。

→ヨハネによる福音書 7 : 42

メシアはダビデの子孫で、ダビデのいた村ベツレヘムから出ると、聖書に書いてあるではないか。

43 こうして、イエスのことで群衆の間に (意見が) 対立 (し、分裂) が生じた。44 その中にはイエスを
捕らえようと思う者もいたが、手をかける者はなかった。

45 さて、祭司長たちやファリサイ派の人々は、^{しんがく}下役たちが戻って来たとき、「どうして、あの男を連れて
来なかったのか」と言った。

46 (イエスの話に心を打たれ感動した) 下役たちは、「今まで、(いろいろな高名なラビの話を聞いてきま
したが) あの人のように話した人はいません」と答えた。→下役たちは、イエスの神性をほぼ認めている。

47 すると、ファリサイ派の人々は言った。「お前たちまでも惑わされたのか。48 議員やファリサイ派の
人々の中に、あの男を信じた者がいるだろうか。49 だが、律法を知らないこの群衆は、呪われている。」
→ (リビング・バイブル) これを聞くと、パリサイ人たちは吐き捨てるように言いました。「さては、お
まえたちも惑わされたな。われわれユダヤ人の議員やパリサイ人の中で、あの男をメシヤだなどと信じ
ている者は一人もいない。無知な連中は頭から信じきっているかもしれないが、やつらに何がわかるか。
罰あたり者めが。」

50 (そこで) 彼らの中の一人で、以前イエスを訪ねたことのあるニコデモが言った。〔夜ひそかにイエスを訪ねた、あのユダヤ人の指導者です。〕

51 「我々の律法によれば、まず本人から事情を聞き、何をしたかを確かめたうえでなければ、判決を下して(裁いて) はならないことになっているではないか。」

→ (リビング・バイブル) 「おことばですが、取り調べもしないうちに有罪だと決めるのは、合法的ではありません。」

52 彼らは答えて言った。「あなたもガリラヤ出身なのか。よく調べてみなさい。ガリラヤからは預言者の出ないことが分かる。」

53 「人々はおのおの家へ帰って行った。」

【参考】 ベツレヘム・パール Bethlehem Pearl

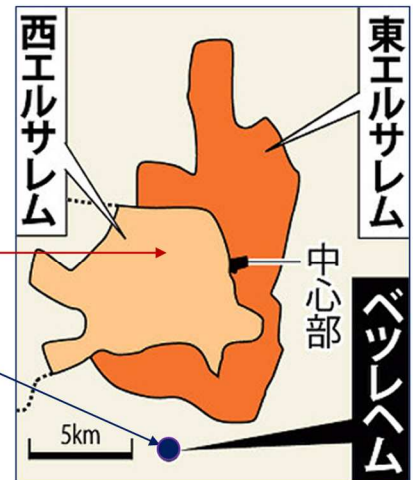
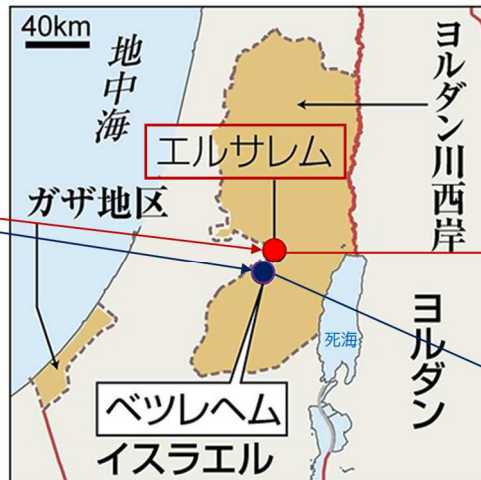


パレスチナ暫定自治区(ヨルダン川西岸地区)にあるベツレヘムでは、長年にわたり、父から息子へと受けつがれてきた手工芸品「ベツレヘムパール」(貝細工)があります。のこぎり、小さなノミ、やすりなど様々な道具を使用して手作業で作ら

れ、多い場合は1000もの工程があります。

参考：<https://co-ws.com/bethlehem-pearl/>

ナザレ / エルサレム / ベツレヘム



※ナザレ/エルサレム(イスラエル)/ベツレヘム(パレスチナ自治区)

(図A) (図B)
出典(図のみ)：産経ニュース/ (図A) 毎日新聞 (図B)
→上記図は一部加工しています。

【参考】 マイム・マイム Mayim Mayim

イエス時代には、「仮庵の祭り」(7日間)では、毎日「水取りの儀式」がシロアムの池で行なわれます。大祭司がきれいな衣を着て金の杓子(黄金の器)をもってシロアムの池から水を汲み、それをエルサレム神殿にまで運びます。その時に、イザヤ書 12:3 を歌いながら、神殿までその水を運ぶ行列をします。そして、神殿の祭壇の回りを一度回り、水を祭壇のそばに置かれた容器に注ぐのです。最後の7日目(ヨハネによる福音書 7:37 祭が最も盛大に祝われる終わりの日)には、神殿の祭壇の回りを7度回り、水を容器に注ぎます。—この日(乾季から雨季へ移行)から、雨乞いの祈りが始まる。—
→仮庵祭に朗読される聖書箇所 ゼカリヤ書 14:1~21、エゼキエル書 47:1~23

「マイム・マイム(Mayim Mayim)」は、開拓地で水を掘り当てて人々が喜ぶさまを歌ったイスラエルの楽曲です。子供の頃にフォークダンスで皆と一緒に躍ったあの曲です。

「マイム・マイム」の原題は「ウシャヴテム マイム U'sh'avtem Mayim (ושאבתם-מים)」で、直訳すると「あなた方は水を汲む」という意味です。

この歌詞は、「イザヤ書」12:3 「U'sh'avtem mayim be-sasson Mi-ma'ayaneh ha-yeshua(あなたたちは喜びのうちに/救いの泉から水を汲む。(新共同訳)」という聖句がそのまま使われています。

「マイム mayim」はヘブライ語で「水」、「ベッサンソン be-sasson」は「喜びのうちに」を意味しています。

マイム・マイム(Mayim Mayim) (ヘブライ語の歌詞と日本語訳)

ウシャヴテム マイムベッサンソン 「あなた方は喜びのうちに」
ミイマイエネハイエシュア 「救いの泉の水を汲む」
マイム・マイム・マイム・マイム 「水、水、水を」
ミイマイムベッサンソン 「水を汲むだろう」
ヘイ・ヘイ・ヘイ・ヘイ
マイム・マイム・マイム・マイム 「水、水、水を」
マイム・マイムベッサンソン 「救いの水を汲む」

【参考】 ヒゼキヤのトンネル

歴代誌下 32:30

上の方にあるギホンの湧き水をせき止め、ダビデの町の西側に向かって流れ下るようにしたのも、このヒゼキヤであった。ヒゼキヤはそのすべての事業を成し遂げた。

BC700年頃、アッシリアの脅威にさらされたヒゼキヤ王は、敵から水源を守るため、城壁の外にあったエルサレムの水源「ギホンの泉」から、岩盤をくり貫いて地下トンネルを掘り、城内のシロアムの池まで水を引きました。これが、ヒゼキヤのトンネルです。(列王記下 20:20)。

シロアム碑文(シロア碑文、シルワーン碑文、イスタンブール考古学博物館)は、ギホンの泉からシロアムの池へ水を運ぶためのシロアム・トンネルで発見された碑文で、トンネルの建設を記録している。

ヨハネによる福音書 9:7

そして、「シロアム」——『遣わされた者』——という意味——の池に行って洗いなさい」と言われた。そこで、彼は行って洗い、目が見えるようになって、帰って来た。

